

第4回教育委員会定例会議事要録

詳細—教育部庶務課 電話03-3981-1141

附属機関又は 会議体の名称	教育委員会定例会
事務局（担当 課）	教育部庶務課
開催日時	平成27年4月8日 午後2時
開催場所	教育委員会室
出席者	委員 菅谷 眞（委員長）、千馬 英雄、渡邊 靖彦、三田 一則（教育長）
	その他 庶務課長、学務課長、学校施設課長、指導課長、教育センター所長
	事務局 庶務課庶務係長、庶務課庶務係主事
公開の可否	一部公開 傍聴人 2人
非公開・一部公開 の場合は、その理由	第22号議案、報告事項第4、5、6、7、8、9号
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第22号議案 臨時職員の任免 2. 報告事項第1号 区立小・中学校、幼稚園におけるインフルエンザの流行状況について 3. 報告事項第2号 平成27年度区立幼稚園、小・中学校行事一覧等について 4. 報告事項第3号 立教大学（スーパーグローバル大学）連携 English Camp について 5. 報告事項第4号 主幹教諭の配置について 6. 報告事項第5号 指導教諭の配置について 7. 報告事項第6号 平成27年度「豊島区立学校の管理運営規則」第9条に定める主任及び主任の校務を担当する主幹教諭一覧 8. 報告事項第7号 臨時職員の任免 9. 報告事項第8号 臨時職員の任免 10. 鵬億事項第9号 臨時職員の任免

菅谷委員長)

それでは、第4回教育委員会定例会を始めます。本日の署名委員は、千馬委員と渡邊委員です。

(1) 第22号議案 臨時職員の任免

<庶務課長 資料説明>

人事案件のため非公開

(委員全員異議なし 第22号議案了承)

(8) 報告事項第7号 臨時職員の任免

<指導課長 資料説明>

人事案件のため非公開

(委員全員異議なし 報告事項了承)

(9) 報告事項第8号 臨時職員の任免

<指導課長 資料説明>

人事案件のため非公開

(委員全員異議なし 報告事項了承)

(10) 報告事項第9号 臨時職員の任免

<教育センター所長 資料説明>

人事案件のため非公開

(委員全員異議なし 報告事項了承)

(5) 報告事項第4号 主幹教諭の配置について

(6) 報告事項第5号 指導教諭の配置について

(7) 報告事項第6号 平成27年度「豊島区立学校の管理運営規則」第9条に定める主任及び主任の校務を担当する主幹教諭一覧

<指導課長 資料説明>

人事案件のため非公開

(委員全員異議なし 報告事項了承)

(2) 報告事項第1号 区立小中学校、幼稚園におけるインフルエンザの流行状況について

<学務課長 資料説明>

菅谷委員長)

インフルエンザのタイプは年によって少しずつ変わってくるので、次の年にはどれが流行するかを予測してワクチンをつくっています。最近はその前年にはやったインフルエンザのタイプの率等から翌年のインフルエンザのタイプが相当推定できるようになりました。そのために割とこのワクチンの効果が出てきていると思います。ただ、ワクチンは今、学校の生徒にはあまり打っていません。そういったことで少し様子が違っているかと思うのですが、豊島区において少なかったということは学校の中の健康教育がよかったのかなと思います。

三田教育長)

今年は小・中学校、幼稚園全校で昼食後の歯磨きをやるという呼びかけをしてきました。そうしましたら私の期待どおりの結果が出まして、この取り組みはかなり意味があるのではないかと思います。ピークだった2013年から14年にかけてのデータを見ると大幅に減っています。あのときは毎日何校も学級閉鎖になっていました。ところが、今回は連続的に爆発的に広がるということにはなかったかと思います。気象状況や流行する種類によっても違うので、一概には言えないとは思いますが、うがい、手洗いでなく、歯磨きをしっかり行い、口の中に細菌を入れないような取り組みを御指導いただきたいです。あとは洗口所の問題です。学校施設課が中心となって新築工事では、洗口所を倍にしようとしているところでして、既存の学校でもぜひ改修してもらいたいのですがその点どのような動きになっていますでしょうか。

学校施設課長)

トイレ等の改修の際に、合わせて洗口所の改修をしております、昨年は巣鴨小学校を改修しました。

三田教育長)

歯科校医の先生から、蛇口の数を増やして短時間で子どもたちが歯磨きできるようにとご指導いただきましたが、施設上改善できたところは4分の1ぐらいかと思います。

教育委員会のほうでもっと積極的にこれについては重視して取り組んでいきたいところです。そのための予算措置も提案していいのではないのでしょうか。必要などころにお金をかけて子どもたちの健康を守っていくということは教育委員会がやらなきゃいけないことだと思います。

菅谷委員長)

どうですか、今の点ほかに何か御意見ありますか。

渡邊委員)

確かに予算がないことを逃げ口上にするのではなく、条例までできて、子どもたちの生活

習慣の中にも非常に大事な位置づけとして定着してきているところですから、順番待ちや、洗口所がうまく使えないというようなことがないようにしていただければ、ありがたいです。予算については認められないこともあるかもしれませんが、それでも発信することは大事だと思います。計画立てて精査して出してもらえれば議会のほうでも残りやすいと思いますし、区民としてはそういうことを願っているわけですから、予算の使い方に関しては必要なお金かけるという姿勢で頑張っていただきたいと思います。

千馬委員)

感想ですが、豊島区の比率が小・中、幼稚園とも減っているという分布で一安心です。ただ年度によって流行に温度差があるようです。これを前提にして各学校が、ここに書いてあるインフルエンザ対策を徹底して行うことが今後も必要だと思います。特に教室の換気については気をつけていくといいと思っております。

三田教育長)

効果がどの程度でているのかを数値化するような努力が必要です。それは、区の財政との折衝の中でも求められております。特別支援の関係や不登校対策等、できるだけ数値化して予算要望していく、そういう姿勢をつくっていかねばいけないかと思っております。

昨年の夏の学校保健会の全国大会で、本区の学校歯科医の先生方が、インフルエンザ対応と歯と口腔の衛生管理を率先してやっている学校の事例を提示し、歯と口腔の衛生管理をしっかりとできるような子どもを育てている学校ほどインフルエンザ疾患が少ないという仮説をたて、全国から非常に注目を集めたと伺っております。今回のカリキュラムもそれを前提にしてつくっています。だから、例えばデータのとり方として、今まで歯磨きを全然取り組んでこなかった学校とずっと取り組んできている学校とを経年比較したときに今年はどう見えたのかとか、個人のレベルで食後、歯磨きを習慣にしている子どもと、1日1回朝磨くだけの子どもと夜寝る前磨いている子どもとを比較したときにどのような違いがあるのかとか、そういうデータ分析を学校と連携して行っていったらいいと思います。そしてデータに基づいて財政当局とやりとりし予算要望していくべきです。

学務課長)

歯と口腔の健康が心身の健康を支えているということに関しては、十分認識しているところでございます。今、御指摘いただきましたデータを根拠とした企画を今後進めてまいりたいと思いますので、また御報告をさせていただきたいと思っております。

菅谷委員長)

大人も含めた全体のインフルエンザの流行状況と一緒に比較してみると、さらにわかりやすく、いいデータになると思います。

それでは、インフルエンザの流行状況について、これで終わらせていただきたいと思っております。

(委員全員異議なし 報告事項了承)

(3) 報告事項第2号 平成27年度区立幼稚園、小・中学校行事一覧等について

<指導課長 資料説明>

菅谷委員長)

何か御意見ありますか。

三田教育長)

昨年、世田谷区で土曜日の公開授業の日に登校してくる子どもたちに、車が突っ込んで大勢の子どもが死傷したという事故がありました。実は特別区の教育長会の中でこの問題が取り上げられました。

今、東京都教育委員会で月2回以内の範囲で土曜日授業をやっていいという条例ができて、私どもも土曜公開授業を実施しました。ところが週5日制度というのが全国で決められていて、学校の授業は土曜日、日曜日は、休みとみなされていますので、全国の警察庁も警視庁もスクールゾーンの指定は土日を除くようです。それで、世田谷区の事故が起こったので、所管の警察署にかけあったところ、警視庁が決めてないことを一警察署でやることはできないと断られてしまいました。そういうことが各区で問題になっているので、この際、会長が取りまとめて東京都教育委員会と調整してくれないかという話ができて、再三にわたって要望を直接持っていきまして、連携会議で話題に出してもらいました。結論として、27年度から土曜授業をやっている地区で所管の警察署の了解があれば、スクールゾーンの指定をするという方向で動くという通知文を警視庁が各所管の警察署に出すということで話が進んでいると聞いています。

それでできるだけ早くスクールゾーンの指定についてはやってもらいたいと思っているので、区長部局とも調整してもらって、3警察署のほうに区長名と教育長名で要望を出して、改正してもらいたいと思っています。学務課では毎回、交通安全対策として現場を回っていただいていると思うのですが、今年度は一つの大きな目玉にして、子どもたちの安全を大局的に守っていくということも大事かと思います。ぜひそういう情報を知っていただきたいということと、そういう動きを教育委員会で今後していきたいということに関して、御意見あれば伺っておきます。

菅谷委員長)

渡邊委員、どうですか。

渡邊委員)

ぜひお願いしたいです。スクールゾーンの指定に限らず、警察署はなかなか要望を聞いてくださらないことがあります。以前も子ども110番の家や安全マップをつくったときに区内全域の小学校の登校範囲の中で危険な箇所をPTA、学校、地域の方含めて点検したにもかかわらず、要望がなかなか通りませんでした。ですので、東京都が発信することで、ほかの地域にも影響していってくればありがたいです。公立は土日休みが原則かもしれないですが、私立はほとんどやっていますし、まして中学校、高校生になってくると今、補習授業を盛んに公立学校でも率先してやってくれているので、土日学校に行きます。だから、もし警察側が土曜日はお休みという認識しかないのならこの際、声を大にし

てやっていただければ大変ありがたいなと思うし、今度はP T Aからも連盟で要望するという仕組みもあるかと思しますので、ぜひ頑張ってもらいたいです。

学務課長)

平成24年度から中学校の合同点検というのを始めてございます。それ以前は確かに縦割りというところは非常にごさいます、24年度以降はかなり警察の方も協力的になってきてございます。ですので、この連携の枠組みを崩さないためにその後も合同点検を続けておりますので、このような関係を踏まえながら今の土曜日のスクールゾーンの設定につきましても、今後、働きかけをしていきたいと考えております。

三田教育長)

2つ情報提供いたします。1つは23区中、土曜授業を実施している区が19区あるということです。1日ないし2日やっているところが19区ありますので、圧倒的多数が実施しているということになります。豊島区では今年は原則第1土曜日でしたか。

学務課長)

2です。

三田教育長)

第2ですか。ですが第2ではないケースもときにはあります。そういうときに警察署がどういう反応をするのかという点疑問です。それと私立はいつやっているのかを調べて、データをきちんとそろえて私立と一緒に合同でやればもっといいかと思えます。

あと年に2回、官公庁の連絡会があります。豊島区全部の官公庁が集まって、3警察署も参りますので、豊島区の土曜公開授業について、警察にも御協力いただいたおかげで今回はこうなりましたと、いい結果を報告できればうれしいです。ぜひそれに向けて少し準備を早めて子どもたちの安全対策をやってまいりたいと思えます。

菅谷委員長)

何かご意見ありますか。

渡邊委員)

としま公開授業の件に関して、よろしいですか。今、この一覧で各小学校、中学校の実施状況、内容について御報告いただいているのですが、これに対して保護者や地域の方々がどの程度参加されているのかも併せて通知があると良いかと思えます。子どもに向けての土曜公開授業でもありますが、地域、保護者に向けても公開するというのが非常に重要だと思うので、その辺のデータも出していただければありがたいです。保護者は、土曜日が休みだから行けるということで、各学校相当数見に来てくれていると思えますので、ぜひその点お願いしたいです。

学務課長)

必ず出席簿には丸をつけていただいているので、そのデータを私どもで集約をいたしまして、各校にフィードバックできるように準備させていただきます。

三田教育長)

かつて土曜公開授業の前は参観週間を学期1回ずつ3週間やっていました。ところが、土日以外はあまり人が来ないので改善したほうが良いという話がでまして、土曜公開授業を実施したところものすごい参加が多くなりました。学校によっては、保護者と一緒に子どもが勉強してもらったほうが良いことって結構あるはずです。そういうのを土曜公開授業のときに、授業として位置づけて一緒に聞いてもらうという参加型の土曜公開授業をやっているところもあります。そういう取り組みはすごく重要なので、教育委員も、指導主事や事務局も、時間をつくって少し様子を見てくるなど学校側との風通しをよくすることを、データの出し方、参加者数も含めて考えていく必要があるのではないかと思います。

(委員全員異議なし 報告事項了承)

(4) 報告事項第3号 立教大学(スーパーグローバル大学)連携 English Campについて

<指導課長 資料説明>

菅谷委員長)

何か御意見ありますか。

千馬委員)

感想ですが、こういう英語、特にコミュニケーションを重視した機会が、豊島区にあるということが非常にいいことだと改めて感じます。特にこのマニュアルについては私も今日初めて見ましたが、こういうものがあって、こういう会議に臨むのであれば十分生徒も安心してこの会に参加できるんだろうと感じました。できれば1回ではなくて複数回ぐらいあると会話力、コミュニケーション能力の向上に関して非常に有効かと思っておりますので、ぜひ進めていただけたらありがたいです。

菅谷委員長)

渡邊委員、何かございますか。

渡邊委員)

英語というと、英会話ができることばかりに主眼を置いてしまう保護者が多いのですが、大事なのはコミュニケーションをとる手段としての言語だということ、こういう活動を通して子どもたちには理解できるのではないかと思います。自分たちもそうですが、英語でしゃべる勇気というものがなかなか教室の中では感じ取れません。授業参観で拝見していても、どうしても日本語英語になってしまう傾向にあります。一番の原因は、人前で英語を使うのが恥ずかしい、表現豊かに手ぶり身ぶりを使うのが恥ずかしいというのがありますが、こういうことはそれがなければ達成できないので、その点を体験できているというのはすごく素晴らしいと思います。ましてやこのテキストはすごくよくできているので、安心して自信持って話せるのではないのでしょうか。

三田教育長)

小学校の英語活動の導入については、文科省の先導的な役割を果たしてきたと思うのですが、このところ文部科学省の様々な大臣の発言を聞いていると、小学校では今度、英語

教育を実施するという話になっています。本区がそれと同じトーンで行っていいのかという点については、私はいささか疑問を持っております。というのは、文科省に反対しているわけではなく、むしろ進めてもらいたいことが進まなくて、ただ形だけということについての問題を感じているからです。English Campそのものは非常に賛成をしています。日本は使えない英語ばかり何年間もやっていて役に立たない、だから、もっと使える英語を学ぶべきだというのはわかりますが、それは風土や環境が全然違うという点が理由の一つにあります。ヨーロッパに行ったら隣の国はドイツ語で、隣の国がフランス語でと、言語が違う領域が国境を挟んであるわけです。そこを人が行き来するわけですから、当然何カ国語も知らないで自分の自国語だけで生活できるという環境ではありません。場合によっては敵として攻めてくるというような厳しい環境があるところもたくさんあります。ところが、日本は島国で、鎖国以来、異文化については、適度に受け入れていたにしても、なければならぬで済んでいたという環境がずっと続いていました。しかし国際化がこれだけ進んだ今、多様化を都市として受けとめていくという環境をつくっていかないといけません。そうすると、このEnglish Campの趣旨は、英語を使わざるを得ないような環境をつくって、そこで子どもたちに力を発揮させているので有効です。

今の子どもたちの環境から考えると、意図的に英語を話す環境をつくって、それを継続させるということが必要だと思います。それから、今は英語で授業をするように文科省も言い始めていますが、そう言われてもすぐ中学校の英語の先生は、全部英語で授業できるのかと少し心配です。いま一度、今の実態をよく分析して今後、新しく英語教育も含めて取り込んでいく必要があります。その際免許制度やカリキュラム、評価の問題という話も出てきますから、そういう条件もきちんと整えながらやっていくようにしないと、今度の新しい学習指導で失敗してしまいます。ですから、こういう取り組みはどこにつながっていくのか、これからどういう方向を目指すのかということをしつかりと位置づけて大学連携をしていく必要があると思うので、ほかの大学についても、英語についていろいろ協力してくれる大学がありますので、連携を充実させてほしいなと思います。こういう提案いただいたことはすごくいいことです。

それから、子どもに先に情報を提供しておいて、ぜひほかの先生方に周知してもらえたら、ありがたいなと思います。

菅谷委員長)

実際、英語教育がうまくいくというのは本当に大変じゃないかと思います。結局、言葉というのは常に使っていないと、どんどん忘れてしまいます。ですから、1週間のうちほんのわずかな時間だけ英語をしゃべることがどれだけ効果をもつのかについては、難しい問題ですので、そういうことはこれからの課題として出てくると思います。このEnglish Campについては、それなりの意義があったと思いますが、これを受ける大学側はこのキャンプについてどのような成果を期待しているのでしょうか。

指導課長)

大学のほうが地域貢献をしたいというのが、まず1点目でございます。もう1つは、立教大学はいろいろな国からの留学生を受け入れていまして、スーパーグローバル大学にも認定されていた大学でございます。そういった中で日本の文化を知る、日本の子どもたちとの出会いというものを非常に大切にされている。そういった狙いが大学側にはあるというところでございます。

菅谷委員長)

これが今後ともいろいろな課題を乗り越えていっていただくのを期待しております。

それでは、この報告については皆さん、どうでしょう。よろしいかと思えます。

(委員全員異議なし 報告事項了承)

菅谷委員長)

以上できょうの議案につきましては、終わりましたがこの後、総合教育会議がございませう。どうもありがとうございました。

(午後4時 閉会)